



クライアント 操作マニュアル

C00-04 リスト集計表画面

株式会社 エヌジェーケー

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社エヌジェーケーにあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されております。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社エヌジェーケーの登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記	C00-04_0
1.リスト集計について	C00-04_1
2.表組み画面	C00-04_2
2-1 基本操作	C00-04_3
2-2 特殊な画面構成要素	C00-04_5
◆階層項目の設定	C00-04_5
◆計算式の追加	C00-04_6
3.リスト集計表画面	C00-04_8
3-1 画面について	C00-04_9
◆リスト集計表の画面構成	C00-04_9
◆データリスト表の画面構成	C00-04_11
3-2 主な機能	C00-04_12
◆データセレクトー	C00-04_12
◆条件集約	C00-04_15
◆対比計算	C00-04_16
◆条件付き書式	C00-04_18
◆ランキング(順位)	C00-04_20
◆参照項目設定	C00-04_21
◆印刷/データ出力	C00-04_22

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント
DataNature Smart Personal :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

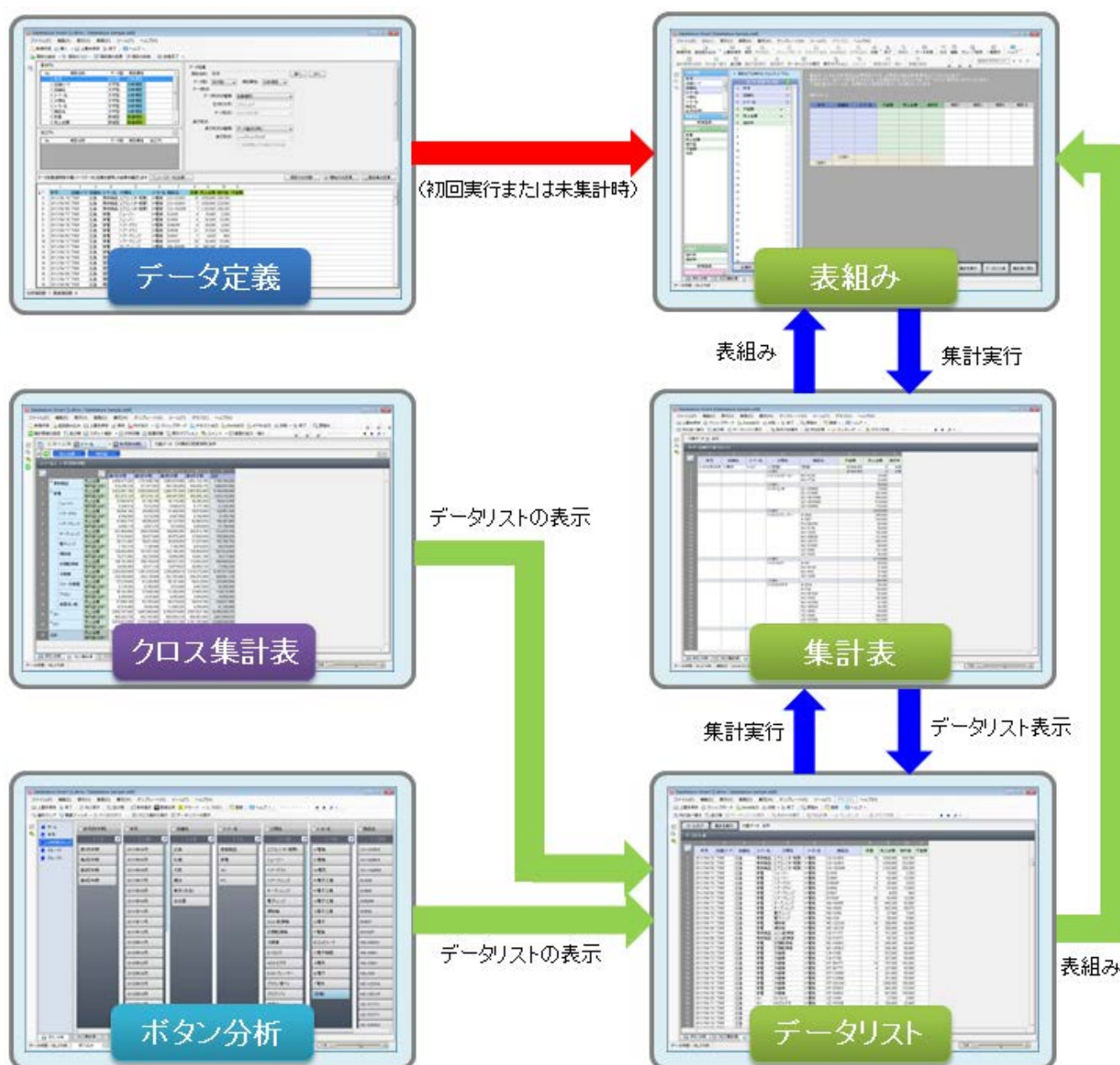
◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

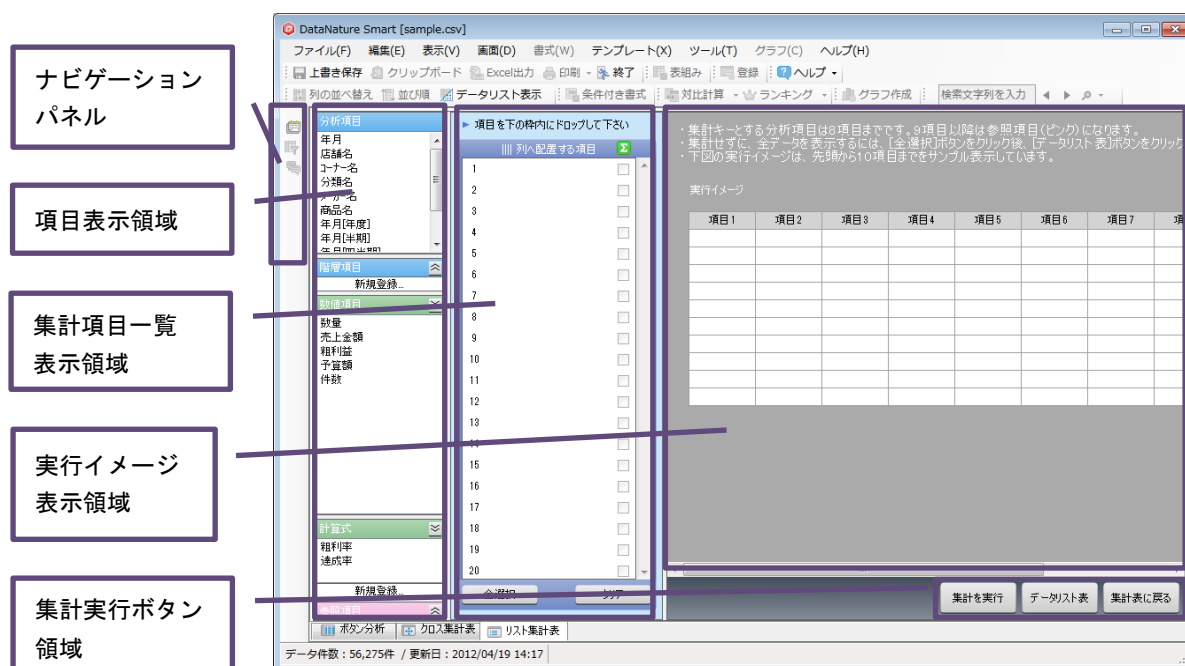
1. リスト集計について

リスト集計は、集計表の構成要素を組み立てる「表組み」、集計した結果を表示する「集計表」、データ全体やボタン分析画面などで選択したデータをレコード表示する「データリスト」の3つの画面で構成されています。

画面の遷移は下記の通りです。



2. 表組み画面



表組み画面は、次の要素で構成されています。

■ ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。リスト集計画面の表組みでは、「テンプレート一覧」が利用できません。

■ 項目表示領域

集計表の構成要素となる「分析項目」、「階層項目」、「数値項目」、「計算式」、「参照項目」の一覧が表示されます。項目を集計項目一覧表示領域にドラッグ＆ドロップして表を組み立てます。

■ 表構成情報指定領域

[列に配置する項目]に、項目表示領域からドラッグ＆ドロップした項目を表示します。

■ 実行イメージ表示領域

先頭列から10項目までの集計イメージを表示します。参照のみで操作はできません。

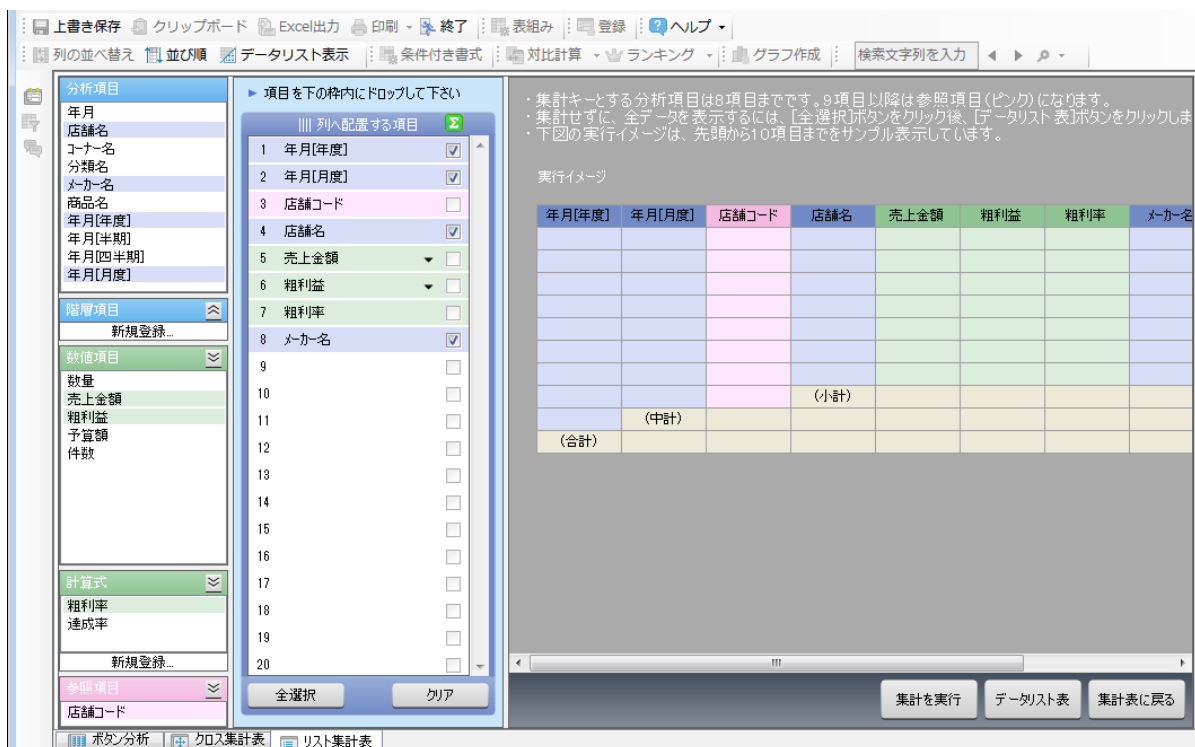
■ 集計実行ボタン領域

集計の実行やデータリストの表示を行います。

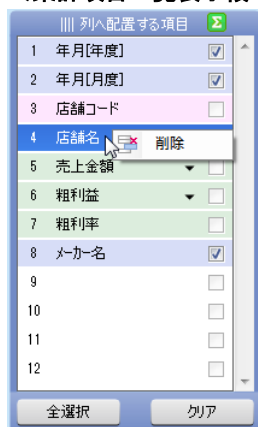
1-1 基本操作

データ定義画面のツールバー[定義完了]のドロップダウンリストから[リスト集計]を選択した場合には、この表組み画面で集計表の構成要素を組み立てます。また、リスト集計表から表組み画面に戻って、構成要素を変更することもできます。

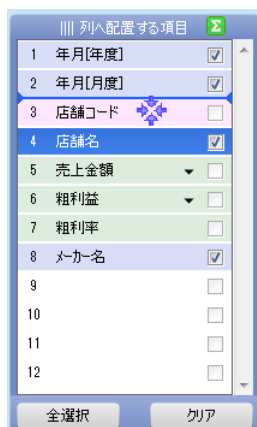
- ① [分析項目]、[階層項目]、[数値項目]、[計算式]、[参照項目]一覧から、集計表に配置する項目を[列へ配置する項目]にドラッグ＆ドロップします。



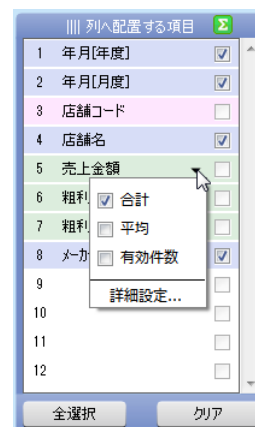
<集計項目一覧表示領域>



■項目を対象から外す
項目の上で右クリックして[削除]するか、元の一覧ヘッダでドラッグ＆ドロップします。一括で外す場合は[クリア]ボタンをクリックします。



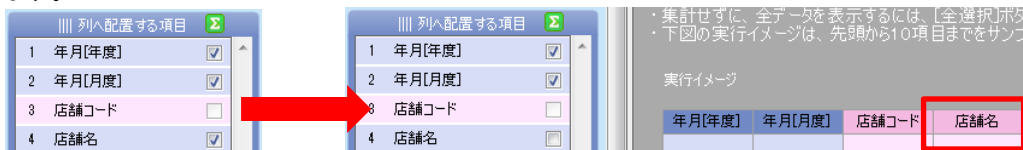
■項目の並び順を変更する
対象項目をドラッグして、配置する位置に青線が表示されたらドロップします。



■集計方法の設定
数値項目の横に表示される[▼]ドロップダウンリストから、集計方法を設定できます。
※リスト集計表画面に移った後に調整することもできます。

■分析項目の属性を参照項目に変更する場合

分析項目（水色）の右側にあるチェックボックスをチェックオフすると、実行イメージ領域の色が参照項目（ピンク色）になります。



- 2 実行イメージ表示領域で、先頭から10項目（列）までのイメージを確認できます。集計キーとなる分析項目（水色）は8項目までで、それ以降は自動的に参照項目となり、集計の対象から外れます。

・集計キーとする分析項目は8項目までです。9項目以降は参照項目（ピンク）になります。
 ・集計せずに、全データを表示するには、[全選択]ボタンをクリック後、[データリスト表]ボタンをクリックします。
 ・下図の実行イメージは、先頭から10項目までをサンプル表示しています。

実行イメージ

年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	売上金額	粗利益	粗利率	メーカー名	項目9	項目10
			(小計)						
	(中計)								
(合計)									

- 3 表組みの設定が完了したら、[集計を実行]ボタン、もしくは[データリスト表]ボタンをクリックします。

▼集計が実行されて、リスト集計表画面に遷移します。

対象データ ≡ 全件

年月[年度]>年月[月度]>店舗名>メーカー名

1	2	3	4	5	6	7	8
年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	売上金額(合計)	粗利益(合計)	粗利率	メーカー名
2011年度	4月度	T005	広島	23307570	4305460	18.47%	H電機
		T005		29536430	5458070	18.48%	D電機
		T005		36569410	6922255	18.93%	M電気
		T005		895120	160320	17.91%	R電子工業
		T005		7479500	1111732	14.86%	P電子工業
		T005		1356640	342040	25.21%	N電子工業
		T005		1492500	99500	6.67%	S電子工業
		T005		2368500	157900	6.67%	G電子
		T005		7768500	517900	6.67%	F電機
		T005		6770250	1167750	17.25%	C電子機器
		T005		34413410	2922170	8.49%	A電気
		T005		18004130	3659690	20.33%	B電子
		T005		30008040	5801130	19.33%	T電気
		T005					□
			(小計)	199970000	32625917	16.32%	
		T001	札幌	28745810	5459730	18.99%	H電機
		T001		38083730	7212005	18.94%	D電機
		T001		40259350	7967100	19.79%	M電気
		T001		1093440	195840	17.91%	R電子工業
		T001		10446300	1621991	15.53%	P電子工業
		T001		2423200	618580	25.53%	N電子工業
		T001		1416000	94400	6.67%	S電子工業
		T001		3936000	262400	6.67%	G電子
		T001		11985000	799000	6.67%	F電機
		T001		4185500	277700	6.67%	Eコンピュータ
		T001		15171750	1780890	11.74%	C電子機器
		T001		36424820	3185530	8.75%	A電気
		T001		27195290	5515360	20.28%	B電子

▼データリストを表示します。

オールクリア 集計を実行 対象データ ≡ 全件

データリスト表

1	2	3	4	5	6	7
年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	売上金額	粗利益	メーカー名
		T005	広島	1538600	329700	H電機
		T005	広島	1038800	222600	H電機
		T005	広島	1102500	236250	H電機
		T005	広島	15400	2200	H電機
		T005	広島	92400	13200	H電機
		T005	広島	24640	3520	H電機
		T005	広島	97020	13860	H電機
		T005	広島	4620	660	H電機
		T005	広島	92400	13200	H電機
		T005	広島	445200	82680	H電機
		T005	広島	482300	89570	H電機
		T005	広島	37800	7020	H電機
		T005	広島	50400	9360	H電機
		T005	広島	336000	48000	H電機
		T005	広島	280000	40000	H電機
		T005	広島	151200	32400	H電機
		T005	広島	56700	12150	H電機
		T005	広島	249240	44640	H電機
		T005	広島	249240	44640	H電機
		T005	広島	337680	60480	H電機
		T005	広島	337680	60480	H電機
		T005	広島	797300	142800	H電機
		T005	広島	227800	40800	H電機
		T005	広島	281400	50400	H電機
		T005	広島	281400	50400	H電機
		T005	広島	1008350	180600	H電機
		T005	広島	643200	115200	H電機
		T005	広島	857600	153600	H電機

1-2 特殊な画面構成要素

リスト集計表の構成要素を組み立てます。

構成要素一覧

分析項目	文字属性の項目を一覧表示します。【例】店舗名・商品名 自動日付/自動時間項目: データファイルの日付型/時間型データを基に日付期間項目や時間項目を自動生成して表示します。【例】年度・半期・四半期・時・分・AM/PM
階層項目	C00-04_5 「◆階層項目の設定」を参照ください。
数値項目	数値項目属性の項目を一覧表示します。【例】売上金額・数量
計算式	C00-04_6 「◆計算式の追加」を参照ください。
参照項目	データ定義画面で参照項目として設定したデータを一覧表示します。

◆ 階層項目の設定

使用頻度の高い階層構造を定義し、表の構成要素の一つとして登録しておきます。

- ① [階層項目]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。

▼[階層項目の定義]ダイアログボックスが表示されます。

階層項目の定義

項目一覧:

- 年月
- 店舗名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[年]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]
- 年月[月]
- 年月[週(年)]

階層名称:

階層定義:

右の枠内へドロップ

新規 一覧へ反映

階層定義一覧:

No.	階層名称	階層定義
1	年階層	年月[年度] >> 年月[半期] >> 年月[月度]

削除 OK キャンセル

- ② [階層名称:]欄に、任意の名称を入力します。

- ③ [項目一覧:]欄から、階層にする項目を選択して、[階層定義:]欄にドラッグ & ドロップします。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数の項目を同時に選択できます。最大 8 階層まで設定できます。

階層項目の定義

項目一覧:

- 年月
- 店舗名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[年]
- 年月[半期]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]
- 年月[月]
- 年月[週(年)]

階層名称: 年階層

階層定義:

右の枠内へドロップ

新規 一覧へ反映

1 年月[年度]
2 年月[半期]
3 年月[月度]

- ④ [一覧へ反映]ボタンをクリックします。
▼[階層定義一覧:]に内容が表示されます。

- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。
▼[階層項目]に設定した階層名称が表示されます。

◆ 計算式の追加

数値項目を四則計算等で計算し、その結果を新しい数値項目として追加します。最大 16 個まで追加できます。

- ① [計算式]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。
▼[計算式の追加]ダイアログボックスが表示されます。

- ② [表示名称]欄に、任意の名称を入力します。
③ [計算式]欄に、計算式を入力します。

- 計算式に利用できる数値項目(記号や項目名称)
 - 優先演算子(括弧)
 - 組み込み関数
 - テンキー(数字)
 - 四則演算子
- これらを利用して計算式を設定します。

▼[計算式]欄に計算式が表示されます。

計算式の追加

No.	表示名称	計算式
1	達成率	["売上金額"] / ["予算額"]
2		
3		
4		
5		
6		

数値項目(記号:名称): 入力

N1数量
N2売上金額
N3粗利益
N4予算額
N5件数
N6行セル数
N7列セル数

() 7 8 9 /
4 5 6 *
1 2 3 -
関数挿入 0 . +

計算例
売上金額の5%を整数以下切り捨てた値を求める計算式
> TRUNC(["売上金額"]*0.05,0)

※数値項目は、記号または名称を[]で囲んで指定

削除 OK キャンセル

4 [OK]ボタンをクリックします。

▼[計算式]に設定した表示名称が表示されます。

計算式

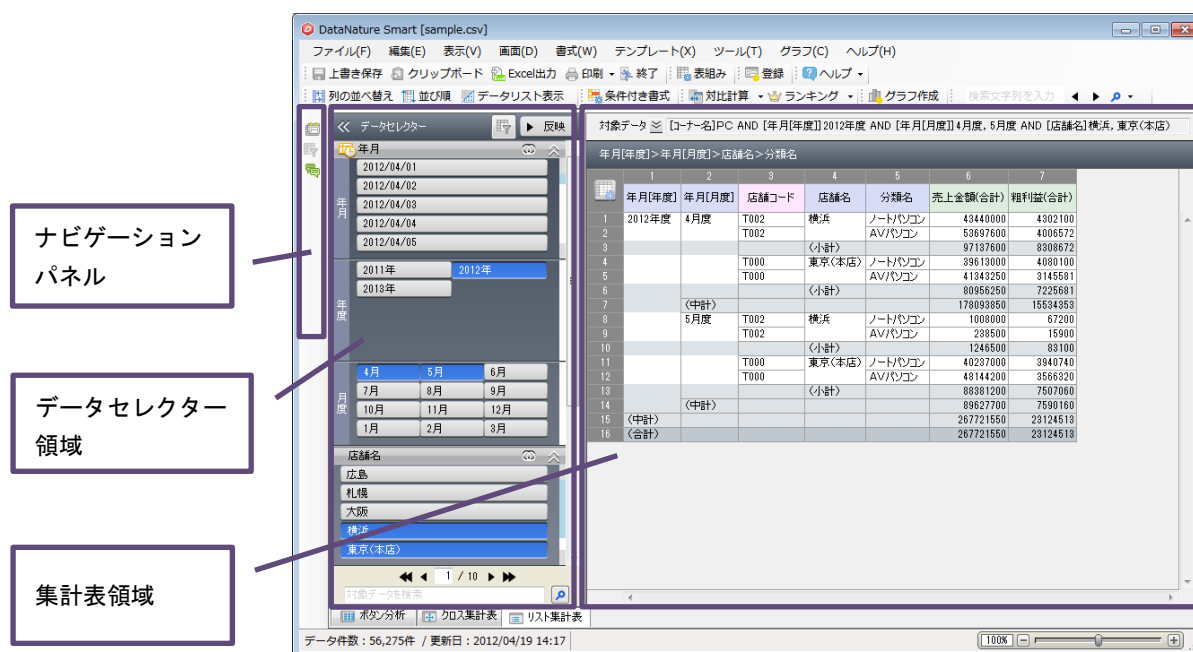
達成率

新規登録...



[計算式の追加]は集計表画面でも設定できます。但し、集計表画面で追加した計算式は、集計表に表示する操作が必要です。(メニューバー[表示]-[集計数値の表示設定])

3. リスト集計表画面



リスト集計表画面は、次の要素で構成されます。

■ ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。リスト集計表画面では、「テンプレート一覧」「データセクター」「コメント」が利用できます。

■ データセクター領域

集計表の集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計を行います。

■ 集計表領域

リスト集計表やデータリスト表を表示します。

3-1 画面について

リスト集計表とデータリスト表の2画面があります。

◆ リスト集計表の画面構成

リスト集計の表組みやデータリストから集計を実行して表示される画面です。

The screenshot shows a table with columns for year/month, store code, store name, category, and sales/profit. Callouts indicate: 1. Target data display area (top filter bar), 2. Table title/unit display area (top bar), 3. Item cell area (table body), and 4. Consolidation value cell area (table body).

1	2	3	4	5	6	7
年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
2012年度	4月度	T002	横浜	ノートパソコン	43440000	4302100
		T002		AVパソコン	53697600	4006572
			(小計)		97137600	8308672
		T000	東京(本店)	ノートパソコン	39613000	4080100
		T000		AVパソコン	41343250	3145581
			(小計)		80956250	7225581
	(中計)				178093850	15534353
	5月度	T002	横浜	ノートパソコン	1008000	67200
		T002		AVパソコン	238500	15900
			(小計)		1246500	83100

①対象データ表示領域

②表題領域/単位表示領域

③列項目セル領域

④集計値セル領域

①対象データ表示領域

集計対象データを表示します。情報が多い場合は、 ボタンをクリックすることで表示領域が広がります。

The screenshot shows the filter bar with the text "対象データ ≡ [コーナー名]PC AND [年月[年度]]2012年度 AND [年月[月度]]4月度, 5月度" and a button labeled "表題の設定...".

②表題領域/単位表示領域

表題が表示されます。この領域②で右クリックして表示される[表題の設定]ダイアログボックスで任意の表題を設定できます(メニューバー[書式]-[表題の設定])。<今月><今日>といった定義をおこなうと、システム日付から該当日付に変換して表題に表示できます。

数値項目の単位調整を行っている場合は、右端に単位が表示されます。

③列項目セル領域

列項目を表示します。

列項目セル領域③で右クリックして表示されるコンテキストメニューから[ウィンドウ枠の固定]や[列幅標準/列幅自動調整]などが行えます。

The screenshot shows a right-click context menu over the table. The menu options include: ウィンドウ枠の固定, 列幅標準, 項目限定, 集計内訳表示, 書式設定, 項目列の並べ替え..., データの並び順..., データの条件集約..., 集計数値の表示..., and 項目表示....

④集計値セル領域

集計結果を表示します。

集計値セル領域④で右クリックして表示されるコンテキストメニューから[ウィンドウ枠の固定]や[小計を非表示/表示]、[総合計の非表示/表示]などが行えます。

[表組み]アイコンをクリックすると、表組み画面に遷移します。

The screenshot shows a right-click context menu over the table. The menu options include: ウィンドウ枠の固定, 一括展開, 一括折りたたみ, 集計内訳表示, 小計を非表示, 総合計を非表示, 書式設定, and 条件付き書式の設定....

「表示オプション」について

メニューバー[表示]-[表示オプションの設定]をクリックすると、[表示オプションの設定]ダイアログボックスが表示されます。リスト集計表の表示に関連する情報を設定します。なお、設定したイメージは右側の表で確認できます。

＜集計モード表示＞

項目ごとの合計行（小計/中計）の表示/非表示を設定します。任意の名称を設定したり、データ名の引用もできます。

□総合計を表示

チェックオンで総合計を表示します。

□合計行を集計範囲の先頭行に表示

チェックオンすると、小計/中計が先頭行に表示されます。

年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)	年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
2012年度	4月度	T005	広島	AV/パソコン	25843400	1900600	2012年度					25843400	1900600
			(小計)		25843400	1900600		4月度				25843400	1900600
					25843400	1900600			T005	広島	AV/パソコン	25843400	1900600
					25843400	1900600						25843400	1900600
					25843400	1900600						25843400	1900600
					25843400	1900600						25843400	1900600
					25843400	1900600						25843400	1900600
					25843400	1900600						25843400	1900600
					25843400	1900600						25843400	1900600
					25843400	1900600						25843400	1900600

□展開/折りたたみ表示を行う

分析項目が2項目以上ある集計表の場合にチェックオンすると、項目ごとに[-]アイコンが表示されます。[-]アイコンをクリックすると明細が折りたたまれて[+]アイコンになります。[+]アイコンをクリックすると明細が展開されます。

年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
2012年度	4月度		広島		49866400	4573200
		T004	名古屋	AV/パソコン	36232300	2710010
		T004		ノートパソコン	27330000	2975200
			〈小計〉		63562300	5685210
	〈中計〉				113428700	10258410
	5月度				110014600	10250020
〈中計〉					223443300	20508430
〈合計〉					223443300	20508430

これを「展開/折りたたみモード」と呼びます。

＜設定モード表示＞

□自動日付/時間項目を表示する

日付型/時間型データから自動生成される項目を表示する場合、チェックオンします。また、[自動日付/時間項目の種類設定]ボタンをクリックすると、表示する日付/時間項目の種類を選択することができます。

「集計内訳表示について」

メニューバー[表示]-[集計内訳表示]-[限定表示]をクリックすると、集計表の明細行を小計(中計)ごとに表示します。([全項目表示]を選択した場合は、集計対象となっていない項目も表示されます。また、[解除]で元の集計に戻ります。)

1	2	3
店舗名	分類名	売上金額(合計)
1 広島	AV/パソコン	25843400
2 広島	ノートパソコン	24023000
3 (小計)		49866400
4 東京(本店)	AV/パソコン	41343250
5 東京(本店)	ノートパソコン	39613000
6 (小計)		80956250
7 (合計)		130822650

▲限定表示

1	2	3	4	5	6
年月	店舗コード	店舗名	コーナー名	分類名	メーカー名
1 2012/4/9	T005	広島	PC	AV/パソコン	G電子
2 2012/4/8	T005	広島	PC	AV/パソコン	A電気
3 2012/4/1	T005	広島	PC	AV/パソコン	F電機
4 2012/4/1	T005	広島	PC	AV/パソコン	P電子工業
5 2012/4/10	T005	広島	PC	AV/パソコン	A電気
6 2012/4/2	T005	広島	PC	AV/パソコン	C電子機器
7 2012/4/4	T005	広島	PC	AV/パソコン	A電気
8 2012/4/1	T005	広島	PC	AV/パソコン	A電気
9				(小計)	
10 2012/4/4	T005	広島	PC	ノートパソコン	S電子工業

▲全項目表示

＜展開/折りたたみモードの場合＞表内の[+]アイコンをクリックして、任意の位置から明細行を表示できます。

1	2	3
店舗名	分類名	売上金額(合計)
1 広島	AV/パソコン	25843400
2 広島	ノートパソコン	895500
3 広島	ノートパソコン	1104000
4 広島	ノートパソコン	297000
5 広島	ノートパソコン	1288000
6 広島	ノートパソコン	2400000
7 広島	ノートパソコン	2299500
8 広島	ノートパソコン	1780000
9 広島	ノートパソコン	6567000
10 広島	ノートパソコン	1722000
11 広島	ノートパソコン	5670000
12 広島	ノートパソコン	24023000
13 (中計)		49866400
14 名古屋	AV/パソコン	36232300
15 名古屋	ノートパソコン	27330000
16 (中計)		63562300
17 (合計)		113428700



メニューバー[表示]-[集計内訳表示]-[全項目表示]を実行した場合は、集計対象になっていない項目も含め全ての項目で明細行を表示します。

◆ データリスト表の画面構成

対象のデータをレコード表示します。リスト集計表組み/リスト集計表/クロス集計表/ボタン分析からデータリストの表示が実行できます。また、このデータリストから項目を選択して集計することもできます。

1	2	3	4	5	6	7
オールクリア	集計を実行	対象データ ≡ 全件				
データリスト表						
1	2	3	4	5	6	7
年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額	粗利益
1		T005	広島	エアコン(冷・暖房)	1538600	329700
2		T005	広島	エアコン(冷・暖房)	1038800	222600
3		T005	広島	エアコン(冷・暖房)	1102500	236250
4		T005	広島	シェーバー	15400	2200
5		T005	広島	シェーバー	92400	13200
6		T005	広島	ヘアードライ	24640	3520
7		T005	広島	ヘアードライ	97020	13860

①実行ボタン領域

右図のように項目列No.を選択して、[集計を実行]ボタンをクリックすると集計が実行されます。Ctrl キーや Shift キーを押しながら複数選択することができます。なお、[オールクリア]ボタンをクリックすると青枠線を一括解除します。

②対象データ表示領域

集計対象データを表示します。情報が多い場合は、≡ ボタンをクリックすることで表示領域が広がります。

③表題領域

表題が表示されます。この領域③で右クリックして表示される[表題の設定]ダイアログボックスで任意の表題を設定できます(メニューバー[書式]-[表題の設定])。

＜今月＞＜今日＞といった定義をおこなうと、システム日付から該当日付に変換して表題に表示できます。

オールクリア

集計を実行

対象データ ≡ 全件

データリスト表

	1	2	3	4	5	6	7
	年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額	粗利益
1			T005	広島	エアコン(冷・暖房)	1538600	32970
2			T005	広島	エアコン(冷・暖房)	1038800	22260
3			T005	広島	エアコン(冷・暖房)	1102500	23625
4			T005	広島	シェーバー	15400	220
5			T005	広島	シェーバー	92400	1320
6			T005	広島	ヘアードライ	24640	352
7			T005	広島	ヘアードライ	97020	1386
8			T005	広島	ヘアードレンジ	4620	66
9			T005	広島	ヘアードレンジ	92400	1320



④列項目セル領域

列項目を表示します。

自動日付/時間項目は、集計を実行するとデータが表示されます。

列項目セル領域④で右クリックして表示されるコンテキストメニューから[ウィンドウ枠の固定]や[列幅標準/列幅自動調整]などが行えます。

	1	2	3	4	5	6
	年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額
1					エアコン(冷・暖房)	1538600
2					エアコン(冷・暖房)	1038800
3					エアコン(冷・暖房)	1102500
4					シェーバー	15400
5					シェーバー	92400
6					ヘアードライ	24640
7					ヘアードライ	97020
8					オーブレンジ	4620
9					オーブレンジ	92400

⑤集計値セル領域

集計項目のデータをレコード表示します。

集計値セル領域⑤で右クリックして表示されるコンテキストメニューから[ウィンドウ枠の固定]や[書式設定]が行えます。

	1	2	3	4	5	6
	年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額
1			T005			895500
2			T004			4023000
3			T004			4026000
4			T004			4170000

[表組み]アイコンをクリックすると、表組み画面に遷移します。

データリストから表組みに遷移すると、[列へ配置する項目]一覧がチェックオフの状態になり、参照項目として表示されます。集計を実行する場合は、対象項目をチェックオンしてください。

3-2 主な機能

リスト集計表画面で行える主な機能について紹介します。

デーセクター	集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計します。
条件集約*	任意の条件に一致するデータを集約して表示します。
対比計算*	データの対比が行えるように差異や比率を計算して表示します。
条件付き書式*	設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。
ランキング*	集計結果(集計値)を昇順または降順で並べたときの順位を、新たな数値項目列として表示します。
参照項目設定*	参照項目と分析項目を組み合わせて、同一セル内に複数の項目名を表示します。
印刷/出力	集計表を印刷、または、他のアプリケーションのファイルとして出力します。

*この機能はデータリスト表では利用できません。

◆ データセクター

集計対象のデータを絞り込むための簡易ボタン画面を設定します。注目したいデータだけを絞り込み、再集計ができます。

① ナビゲーションパネルにある[データセクター]アイコンをクリックします。

▼データセクター表示領域が表示されます。再度、[データセクター]アイコンや<<>>ボタンをクリックするとデータセクターを閉じることができます

データセクター

反映

対象データ

全件

年月[年度]>年月[月度]>店舗名>分類名

	1	2	3	4	5	6	7
	年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2011年度	4月度	T005	広島	エアコン(冷・暖房)	29438500	6308250
2			T005		シェーバー	616840	88120
3			T005		ヘアードライ	602350	86050
4			T005		ヘアードレンジ	1503040	214720
5			T005		オーブレンジ	3250100	603590
6			T005		電子レンジ	663600	123240

② データを絞り込むための対象とする項目列を設定するには、表示領域の上部にある[セレクト項目の指定]アイコンをクリックします。

▼[セレクト項目の指定]ダイアログボックスが表示されます。

3 [対象項目一覧:]から、データの絞り込みに利用したい項目列を、[ページに表示する項目:]の枠内にドラッグ&ドロップで移動します。

▼指定した項目が[ページに表示する項目:]に移動します。

📅がついている日付/時間項目は、右端の[▼]ドロップダウンリストから、期間項目(今月度、上下期、曜日など)や時間の項目(AM/PM、時など)を追加表示できます。



[ページに表示する項目:]には1～10までのページタブがあり、タブを切り替えて設定が行えます。1ページに8項目、最大80項目(10ページ×8項目)まで設定できます。

4 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼データセレクト表示領域にセレクト項目が表示されます。

データセレクト		対象データ 全件	
年月		年月[年度]>年月[月度]>店舗名>分類名	
前月	今月	1	2
前年	今年	3	4
第1Q	第2Q	5	6
第3Q	第4Q	7	8
2011/04/01		9	10
2011/04/02		11	12
2011/04/03		13	14
2011/04/04		15	16
2011/04/05			
店舗名			
広島			
札幌			
大阪			
横浜			
東京(本店)			

- 5 絞り込みたいデータ(ボタン)を選択します。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数のボタンを同時に選択できます。 ※日付/時間型項目のデータは、[Shift]キーを利用した複数選択はできません。

データセレクター

年月

前月 今月

前年 今年

第1Q 第2Q 第3Q 第4Q

2013/07/01

2013/07/02

2013/07/03

2013/07/04

2013/07/05

店舗名

広島

札幌

大阪

横浜

対象データ 全件

年月[年度]>年月[月]>店舗名>分類名

	1	2	3	4	5	6	7
	年月[年度]	年月[月]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2011年度	4月度	T002	横浜	5.1chスピーカー	128940	27195
2			T002		AV/パソコン	30848350	2303566
3			T002		CDコンボ	5225500	1285660
4			T002		DVDプレーヤー	3896900	556700
5			T002		DVカメラ	462000	66000
6			T002		HDDビデオ	2911300	415900
7			T002		ふとん乾燥機	705950	151275
8			T002		アイロン	548100	78300
9			T002		エアコン(冷・暖房)	31306800	6708600
10			T002		エアコン(冷房)	22711500	4866750
11			T002		オープンレンジ	3746400	695760
12			T002		シェーバー	698670	99810
13			T002		ジャー炊飯器	976500	139500
14			T002		ノートパソコン	26158000	2529800
15			T002		ブラウン管TV	2494410	446760

- 6 [反映]ボタンをクリックします。
▼絞り込んだデータを対象に、再度集計処理が実行されます。

データセレクター

年月

前月 今月

前年 今年

第1Q 第2Q 第3Q 第4Q

2013/07/01

2013/07/02

2013/07/03

2013/07/04

2013/07/05

店舗名

広島

札幌

大阪

横浜

対象データ

[年月]2013年度 AND [年月四半期]第2四半期 AND [店舗名]札幌、大阪

年月[年度]>年月[月]>店舗名>分類名

1	2	3	4	5	6	7	
年月[年度]	年月[月]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)	
1	2013年度	7月度	T001	札幌	5.1chスピーカー	331560	69930
2			T001		AV/パソコン	22198250	1733045
3			T001		CDコンボ	8237800	1986610
4			T001		DVDプレーヤー	3639300	519900
5			T001		DVカメラ	903000	129000
6			T001		HDDビデオ	2220400	317200
7			T001		アイロン	324450	46350
8			T001		エアコン(冷・暖房)	9227400	1977300
9			T001		エアコン(冷房)	4242000	909000
10			T001		オープンレンジ	2947000	547300
11			T001		シェーバー	528150	75450
12			T001		ジャー炊飯器	722750	103250
13			T001		ノートパソコン	21160000	1677600
14			T001		ブラウン管TV	2235120	400320

標準モード

排他モード

“排他”モードにすると、選択したデータ(ボタン)を除外して再集計します。

店舗名
横浜
広島
札幌
大阪
東京(本店)

1	2	3	4	5	6	7
年月[年度]	年月[月]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2012年度	7月度	広島		192491060	31037652
2			札幌		223551265	33875867
3			(中計)		416042325	64913519
4			8月度		344814115	52489205
5			9月度		348473885	52560071
6			(中計)		1109330325	169962795
7			(合計)		1109330325	169962795

<展開/折りたたみモードでの表示例>



セレクト項目の追加...
セレクト・データの並び順
構成要素の設定
関連フィルタ
検索条件に一致するデータを全て選択
選択クリア

データセレクター表示領域内で右クリックするとコンテキストメニューが表示されます。

- セレクト項目の追加
- セレクト・データの並び順
- 構成要素の設定
- 関連フィルタ
- 検索条件に一致するデータを全て選択
- 選択クリア

[セレクト項目の指定]ダイアログボックスを表示します。
セレクト項目ごとに表示の並び順を設定できます。
日付/時間型項目から追加セレクト項目を設定できます。手順③右欄と同様の設定です。
ボタン選択したときの関連フィルタの動作([関連なし]または[絞り込み])を設定します。
セレクト項目内の検索をしている場合に、検索結果に該当するデータボタンを、メニューを実行した項目内で一括選択します。(日付や時間の項目は除きます。)
選択中のボタンを全て解除します。



ボタン分析画面でデータボタンを選択してデータリスト表を作成した場合は、選択したデータボタンの項目をそのままデータセクター表示領域に再現して表示します。なお、関連モード(関連なし/絞り込み)と選択モード(標準/排他)もボタン分析画面から継承されます。

◆ 条件集約

任意の条件に一致するデータを集約します。例えば、集計された数値データ項目のランキング結果に対してベスト10以外の項目をまとめて表示することができます。

- 1 [条件集約]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[データの条件集約])
▼[データの条件集約]ダイアログボックスが表示されます。

- 2 [集計データの選択:]欄から、条件集約させたい分析項目列を選択します。
- 3 続いて、集約条件の種類やルールを指定します。

■ 表示名称:

条件集約されたデータ項目の名称を入力します。

■ 条件の種類:

条件の種類(ランキング結果による集約/数値条件による集約)をプルダウンリストから選択します。

また「☐このデータを常に最下部に表示」をチェックオンすると、条件集約されたデータは最下部に表示されます。

■ 集約のルール

集約のルール(数値データ項目/集計方法/集約条件)を指定します。

- 4 設定後、[一覧へ反映]ボタンをクリックします。

▼[条件集約一覧:]欄に設定内容が表示されます。

条件集約一覧:

No.	使用	表示名称	集約データ	参照する項目	条件
1	☐	その他	年月	数量	なし
2	☒	その他	商品名	売上金額	ベスト 5以外

- 5 表示を確認したら、[OK]ボタンをクリックします。

▼設定した条件に該当するデータがまとめられます。

	1	2	3	4
	年月	商品名	数量	売上金額
1	2013年04月	AP-N250/4G	110	31,185,000
2		CS-K50R2	110	27,720,000
3		AP-MMX150/15M	124	27,714,000
4		CS-G50K2	73	24,017,000
5		CT-A8HT1	43	23,048,000
6		その他	10,940	892,865,515
7	＜小計＞		11,400	1,026,549,515
8	2013年05月	AP-MMX166/S15T	166	49,551,000
9		CS-G50K2	125	41,125,000
10		AP-N250/4G	137	38,839,500
11		AP-MMX150/15M	138	30,843,000
12		CT-K50R2	120	30,240,000
13		その他	11,894	1,019,246,620
14	＜小計＞		12,580	1,209,845,120



「ランキング結果による集約」を行う場合、メッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、自動的にランキング結果(数値データ順)に合わせてデータを並び替えて表示します。

◆ 対比計算

表示中の集計表を基に、指定した対比方法で差異や比率等を計算して表示します。対比計算の設定は、設定ダイアログボックスと対比計算専用のデータセクターを組み合わせで行います。

- ① [対比計算]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[対比計算]-[設定])

▼[対比計算の設定]ダイアログボックスが表示されます。

対比計算の設定

対比方法: 二項目対比 対比方法の出カイメージは、ヘルプを参照してください。

対象データ

- 年月
- 店舗コード
- 店舗名
- コーナー名
- 分類名
- メーカー名
- 商品名
- 年月[年度]
- 年月[年]
- 年月[半年]
- 年月[四半期]
- 年月[月度]
- 年月[月]
- 年月[週(年)]
- 年月[週(月)]
- 年月[日]
- 年月[曜日]

集計項目一覧

No.	集計項目	基準値	対照値	差異	対比率	増減率
1	売上金額	☒	☒	☐	☒	☐
2	数量(合計)	☒	☒	☐	☒	☐
3	粗利益(合計)	☒	☒	☐	☒	☐

比率の書式

有効桁数: 小数点以下 1 桁

マイナス表示: 特殊表示なし

☐ 対比で「今月」が指定された場合は、前月までを集計範囲とする

並び順設定...

対比計算を実行 OK キャンセル

- ② [対比方法:]の[▼]ドロップダウンリストから、対比方法を選択します。

対比方法	対比対象	データセクターで指定するボタン	対比されるデータ
二項目対比	同一項目内の任意の2データ	任意の2データ	指定データのレコード、自動日付列、自動時間列
対前年	前年度と今年度	今年度の年	年度のレコード
対前期	前期と今期	今年度の期間	期間(半年、四半期)のレコード
対前月	前月度と今月度	今年度の月	月度のレコード
対前週	前週と今週	今週(年と週)	週(年)のレコード
対前日	前日と今日	今日(年、月、日)	日のレコード
対前年同期	前年度と今年度	年度と期間	期間(半年、四半期)のレコード
対前年同期(半年)(同日まで)	前年と今年	年と週(年)	週(年)のレコード
対前年同期(四半期)(同日まで)	前月と今月	年、月と週(月)	週(月)のレコード
対前年同期(半年)(同日まで)	前年度と今年度	今日(年、月、日)	年度開始日から指定日までのレコード
対前年同期(四半期)(同日まで)	前年度と今年度		1日から指定日までのレコード
対前年同期(半年)(同日まで)	前年度と今年度		指定日が属する半年の開始日から指定日までのレコード
対前年同期(四半期)(同日まで)	前年度と今年度		指定日が属する四半期の開始日から指定日までのレコード

- ③ [対象データ]欄から、対比計算の対象にする項目をひとつ選択します。

- ④ [集計項目一覧]の集計項目毎に、基準値・対照値・差異・対比率・増減率を表示するかどうか、指定します。表示する場合は、チェックオンします。

集計項目一覧

No.	集計項目	基準値	対照値	差異	対比率	増減率
1	売上金額(合計)	☒	☒	☐	☒	☐

- 差異 : 対照値-基準値
- 対比率: 対照値÷基準値
- 増減率: 差異÷基準値

- 5 必要に応じて、対比率・増減率に適用される[比率の書式]を設定します。

比率の書式

有効桁数: 小数点以下 1 桁

マイナス表示: 特殊表示なし

- 有効桁数: 小数点以下 1 桁～5 桁を選択します。集計表に“%”が表示されます。
- マイナス表示: 計算結果がマイナスの場合の書式を選択します。



基準値・対照値・差異の書式は、集計項目表示領域で右クリックして表示されるコンテキストメニューの[書式設定]-[数値の表示書式]から設定します。

- 6 対比対象に月日を含む場合で、「□対比で「今月」が指定された場合は、前月までを集計範囲とする」時はチェックオンします。

- 7 [対比計算を実行]ボタンをクリックします。

▼「データセクターで対比させる対象データを選択してください。」のメッセージが表示されます。そのまま[OK]ボタンをクリックします。

- 8 データセクターから、対象データを指定して、[反映]ボタンをクリックします。
- ◆二項目対比の場合: 対象データの選択順で基準値→対照値の指定となります。
 - ◆二項目対比以外の場合: 対照値となる対象データのみ指定します。
- ▼対比計算の集計表が実行されます。

データセクター		対象データ ≡ [メーカー名]C電子機器, A電気, B電子 AND [店舗名]広島, 札幌				
対前年同期		店舗名>メーカー名				
		1	2	3	4	5
		店舗名	メーカー名	売上金額(合計)**		
前年	今年					
2011年	2012年					
2013年						
年度						
H	上期					
Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q		

1	2	3	4	5
店舗名	メーカー名	売上金額(合計):2011年上期	売上金額(合計):2012年上期	売上金額(合計)対比率
1 広島	A電気	187952010	187952010	100.0%
2	B電子	18004130	80840170	449.0%
3	C電子機器	6770250	45672000	674.6%
4 (小計)		212726390	314464180	147.8%
5 札幌	A電気	202210290	202190290	100.0%
6	B電子	27195290	97208560	357.4%
7	C電子機器	15171750	100532250	662.6%
8 (小計)		244577330	399931100	163.5%
9 (合計)		457303720	714395280	156.2%



表示されるデータセクター(ページ0)は、対比計算専用のデータセクターです。対比方法に応じて表示内容が異なります。通常のデータセクター(P.1～P.10)と対比計算用を併用することができます。



対比計算された集計表を解除する場合は、対比計算アイコンをクリックします。(メニューバー[ツール]-[対比計算]-[解除])

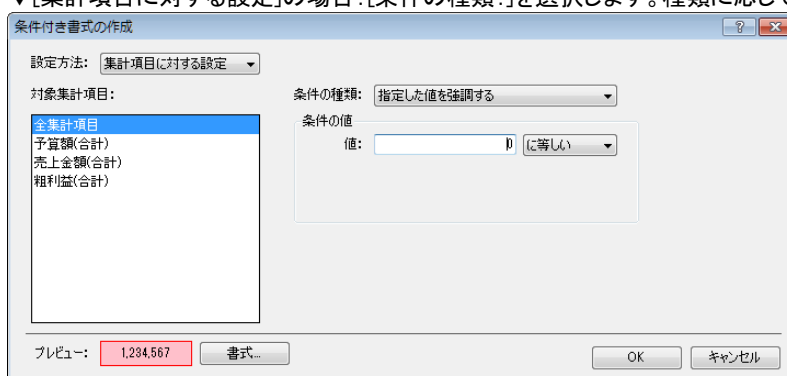
◆ 条件付き書式

設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。

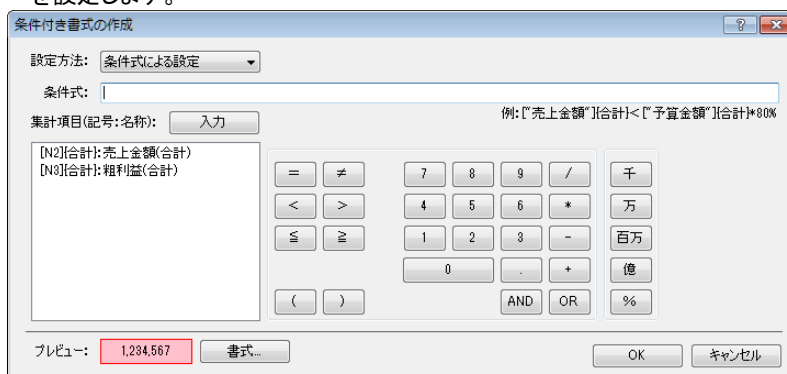
- 1 [条件付き書式]アイコンをクリックします。
(メニューバー[書式]-[条件付き書式の設定])
▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスが表示されます。



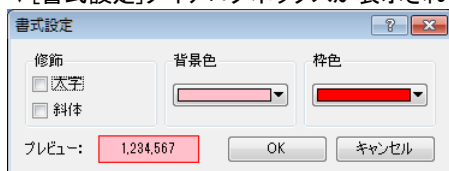
- 2 [新規条件]ボタンをクリックします。
- 3 [設定方法:]から、[集計項目に対する設定]が[条件式による設定]を選択します。
▼[集計項目に対する設定]の場合:[条件の種類:]を選択します。種類に応じて[条件の値]を設定します。



▼[条件式による設定]の場合:集計項目に対して、四則演算子/優先演算子(括弧)/テンキーを利用して任意に条件式を設定します。



- 4 [書式]ボタンをクリックします。
▼[書式設定]ダイアログボックスが表示されます。



- 5 文字列の修飾・背景色・枠色を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

▼[プレビュー:]に設定した書式が表示されます。

プレビュー: 1,234,567 書式... OK

- 6 プレビュー確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスに戻り、[条件付き書式の一覧]に設定した条件が表示されます。(最大 64 個まで設定できます。)

条件付き書式の設定

新規条件... 条件の編集... 条件の削除

条件付き書式の一覧

No.	状態	表示対象	条件	書式
1	☒	行全体	["粗利益"] ≥ ("売上金額") × 11%	1,234
2	☒	売上金額(合計)	集計値は、30000000 以上	1,234

OK キャンセル

- 7 [状態]欄のチェックボックスを確認します。チェックオンされている条件を集計表に反映します。確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼書式が反映された集計表が表示されます。

	1	2	3	4	5	6	7
	年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2012年度	4月度	T005	広島	AV/パソコン	25843400	1900600
2			T005		ノートパソコン	24023000	2672600
3				〈小計〉		49866400	4573200
4			T004	名古屋	AV/パソコン	36232300	2710010
5			T004		ノートパソコン	27330000	2975200
6				〈小計〉		63562300	5685210
7		〈中計〉				113428700	10258410
8		5月度	T005	広島	AV/パソコン	27753450	2045329
9			T005		ノートパソコン	24848000	2815800
10				〈小計〉		52601450	4861129
11			T004	名古屋	AV/パソコン	30415150	2366091
12			T004		ノートパソコン	26998000	3022800
13				〈小計〉		57413150	5388891
14		〈中計〉				110014600	10250020
15	〈中計〉					223443300	20508430
16	〈合計〉					223443300	20508430



[集計項目に対する設定]の場合、指定した集計項目の集計値セルのみを強調表示します。[条件式による設定]の場合は、強調表示の対象は行/列を単位とし、単一の集計項目のみを使った条件式でも、指定された集計項目の集計値セルのみを強調することはしません。



同一セルに複数の条件が合致した場合、[条件付き書式の一覧]の上から順に優先して適用されます。一覧表の並び順は右横の[▲][▼]ボタンで変更できます。

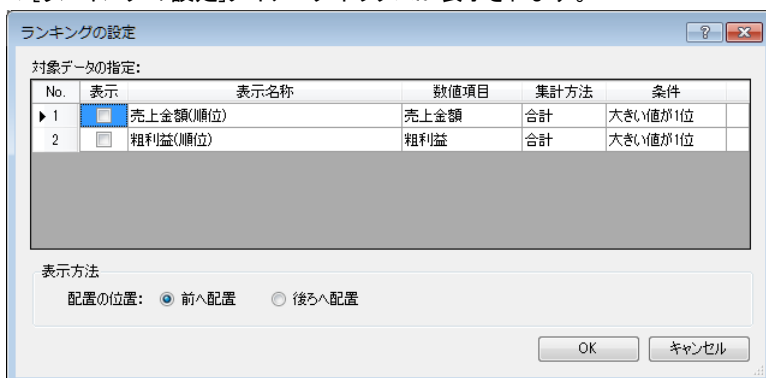


[条件付き書式の設定]ダイアログボックスで、[条件付き書式の一覧]から選択している条件に対して[条件の編集]や[条件の削除]が行えます。

◆ ランキング(順位)

集計表の集計結果(集計値)を昇順または降順で並べた場合のランキング(順位)を、新たな数値項目列として表示します。

- ①  [ランキング]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[ランキング]-[設定])
▼[ランキングの設定]ダイアログボックスが表示されます。



ランキングの設定

対象データの指定:

No.	表示	表示名称	数値項目	集計方法	条件
1	☐	売上金額(順位)	売上金額	合計	大きい値が1位
2	☐	粗利益(順位)	粗利益	合計	大きい値が1位

表示方法

配置の位置: ☒ 前へ配置 ☐ 後ろへ配置

OK キャンセル

- ② 順位を表示させたい集計値のチェックボックスをチェックオンします。
- ③ チェックオンした集計値の[条件]欄の[▼]ドロップダウンリストから順位付けのルールを指定し、表示方法を指定します。



ランキングの設定

対象データの指定:

No.	表示	表示名称	数値項目	集計方法	条件
1	☒	売上金額(順位)	売上金額	合計	大きい値が1位
2	☐	粗利益(順位)	粗利益	合計	大きい値が1位

表示方法

配置の位置: ☒ 前へ配置 ☐ 後ろへ配置

OK キャンセル

条件は、大きい値が1位/小さい値が1位から指定できます。

- ④ 設定後、[OK]ボタンをクリックします。
▼新たにできた<*** (順位)>という集計項目に順位が表示されます。

	1	2	3	4	5	6	7
	年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上金額(順位)	売上金額(合計)
1	2012年度	5月度	T002	横浜	5.1chスピーカー	27	92100
2			T002		AV/パソコン	26	238500
3			T002		CDコンボ	7	3276700
4			T002		DVDプレーヤー	6	4268600
5			T002		DVカメラ	23	543900
6			T002		HDDビデオ	9	2975000
7			T002		ふとん乾燥機	16	1011150
8			T002		アイロン	25	430150
9			T002		エアコン(冷・暖房)	1	28886900



順位表示後に、データの並び順を数値データ順にすると順位が見やすくなります。



ランキングの表示を解除する場合は、[ランキング]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[解除]をクリックします。(メニューバー[ツール]-[ランキング]-[解除])

◆ 参照項目設定

データ定義画面で設定した参照項目や分析項目を組み合わせ、同一セル内に複数の項目名を表示します。

①



[参照項目の設定]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[参照項目の設定])

※[参照項目の設定]アイコンがツールバーにないときには、「C00-00_3 ◆ツールバーのカスタマイズ」を参照してください。

▼[参照項目の設定]ダイアログボックスが表示されます。



参照項目として設定できるのは、データ定義画面で[参照項目]または[分析項目]として設定された項目で、かつ、リスト集計表の構成要素になっていない項目です。

②

[対象データ:]欄で、分析項目を、[▼]のドロップダウンリストから選択します。

③

[参照項目名:]欄で、対象データと関連付けたい項目を、[▼]のドロップダウンリストから選択します。

④

対象データと参照項目の配置を指定します。

▼設定内容が[配置サンプル]に表示されます。

⑤

設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼参照項目と分析項目がセル内に表示されました。

	1	2	3	4	5	6
	年月[年度]	年月[月度]	店舗名	メーカー名	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2011年度	4月度	T002 横浜	A電気	34311670	3155800
2				B電子	20469640	4119900
3				C電子機器	6444750	986850
4				D電機	34358860	6314455
5			<小計>		95584920	14577005
6			T006 広島	A電気	34413410	2922170
7				B電子	18004130	3659690
8				C電子機器	6770250	1167750



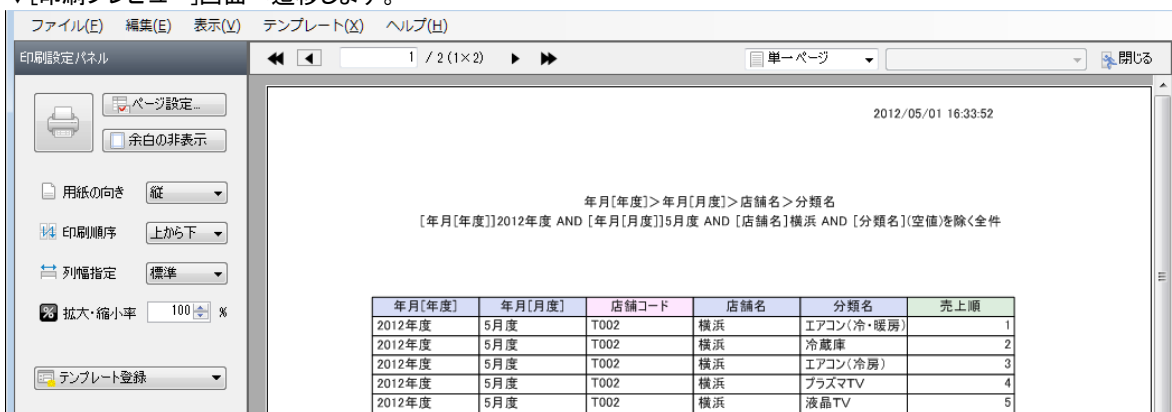
参照項目の表示を解除する場合は、[参照項目の設定]ダイアログボックスで、[対象データ:]欄の[▼]ドロップダウンリストから空欄(未定義)を選択して[OK]ボタンをクリックします。

◆ 印刷/データ出力

作成したリスト集計表を印刷、または他のアプリケーションファイルに出力することができます。
ここでは印刷と Excel 出力の手順を紹介します。

- ①  [印刷]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[プレビュー]をクリックします。
(メニューバー[ファイル]-[印刷]-[プレビュー])

▼[印刷プレビュー]画面へ遷移します。



集計表画面で表示している集計表がそのまま印刷対象となります。また、印刷されるフォントや罫線等のデザインも集計表と同じになります。なお、グラフが全画面表示になっている場合は、グラフをプレビュー表示します。

- ② 左端の[印刷設定パネル]に主な印刷の設定項目をまとめています。

 [印刷実行]ボタン  [ページ設定]ボタン ☐ 余白の非表示  用紙の向き 縦  印刷順序 上から下  列幅指定 標準  拡大・縮小率 100 %  テンプレート登録	[印刷実行]ボタン		印刷を実行します。
	[ページ設定]ボタン		印刷設定の詳細を設定します。(下表参照)
	[余白の表示/非表示]ボタン		余白の表示/非表示を切り替えます。[余白表示]で表示される余白線を利用して列幅を任意に調整できます。
	用紙の向き		縦/横を指定します。
	印刷順序		上から下/左から右を指定します。
	列幅指定		標準/自動/任意を指定します。
	拡大・縮小率		25%～400%で指定します。
	[テンプレート登録]ボタン		印刷/PDF でテンプレートを登録します。

[印刷設定パネル]以外の詳細設定は、[ページ設定]ボタンをクリックして表示される[ページ設定]ダイアログボックスの各タブを切り替えながら設定します。

ページ設定 用紙 余白 ヘッダー フッター タイトル リスト集計表 列項目の重複データを省略する ☒ しない グループ項目をヘッダーとする ☒ しない 集計項目単位で改ページする ☒ しない グラフ出力 ☒ 出力しない	用紙	用紙の向き・印刷順序・拡大・縮小率印刷・センタリングの設定
	余白	上下左右の余白・タイトル行の高さの設定
	ヘッダー	ヘッダーを出力するページの指定・配置やフォントの設定
	フッター	フッターを出力するページの指定・配置やフォントの設定
	タイトル	主題、副題の指定・配置やフォントや表示方法の設定
	リスト集計表	列項目の重複データの省略する・グループ項目をヘッダーとする・集計項目単位で改ページする、についてのしない/する指定やグラフの出力指定

- 3  [印刷実行]ボタンをクリックして、印刷を開始します。
- 4 印刷設定の内容をテンプレートに登録する場合は、[テンプレート登録]ボタンをクリックし、[印刷]もしくは[PDF]を指定して登録します。
- 5 [閉じる]アイコンをクリックして、印刷プレビュー画面を閉じます。

▼集計表画面に戻ります。

	1	2	3	4	5	6	7	8
	年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上順	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2012年度	5月度	T002	横浜	エアコン(冷・暖房)	1	28886900	6190050
2			T002		冷蔵庫	2	26431500	4734000
3			T002		エアコン(冷房)	3	25462500	5456250
4			T002		プラズマTV	4	20412890	3656040
5			T002		液晶TV	5	17487000	3132000



登録された印刷やPDF出力のテンプレートを実行すると、[印刷プレビュー]画面ではなく、[印刷]ダイアログボックスや[PDFファイル出力]ダイアログボックスが表示され、印刷実行やPDFファイルの保存が行えます。

- 6  続いて、[Excel 出力]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[Excel ファイル])

▼[Excel ファイル出力]ダイアログボックスが表示されます。

Excelファイル出力

出力ファイル:

☒ データのみ出力する
☐ データと書式を出力する
☐ Excelテンプレートを使用する

Excelテンプレートファイル:

Excel出力データ開始位置:

☐ 列項目の重複データを省略する

付加情報

☐ 表題文字列
☐ 対象データ情報
☐ 単位

出力ファイル	保存先フォルダーとファイル名を入力します。
出力対象の指定	[○Excel テンプレートを使用する]を指定した場合は、適用する Excel テンプレートファイルを指定します。(事前に作成が必要です)
Excel 出力データの開始位置	空欄の場合は「A1」セルが開始位置になります。
列項目の重複データを省略する	省略する場合はチェックオンします。
付加情報	表示させたい情報にチェックオンします。

- 7 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼確認メッセージが表示されます。

Excelファイル出力

 Excelファイル出力が正常に終了しました。
出力したファイルを開きますか？

- 8 [はい]ボタンをクリックします。

▼Excel ファイルが表示されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
	年月[年度]	年月[月度]	店舗コード	店舗名	分類名	売上順	売上金額(合計)	粗利益(合計)
1	2012年度	5月度	T002	横浜	エアコン(冷・暖房)	1	28886900	6190050
2			T002		冷蔵庫	2	26431500	4734000
3			T002		エアコン(冷房)	3	25462500	5456250
4			T002		プラズマTV	4	20412890	3656040
5			T002		液晶TV	5	17487000	3132000
6			T002		DVDプレーヤー	6	4268600	609800
7			T002		CDコンボ	7	3276700	779530
8			T002		ブラウン管TV	8	3197910	572760
9			T002		HDDビデオ	9	2975000	425000
10			T002		除湿器	10	2951900	632550
11			T002		オーブンレンジ	11	2840600	527540
12			T002		衣類乾燥機	12	2659900	476400



データ出力には[Excel ファイル出力]以外に、[クリップボード出力]、[テキストファイル出力]、[HTML ファイル出力]、[PDF ファイル出力]があります。

(メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[クリップボード]/[***ファイル])



メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[出力オプション]で表示される[データ出力オプション]ダイアログボックスでは、ファイルの種類毎に出力範囲や付加情報、外部アプリケーションとの連携用オプション等を設定することができます。

また、[データ出力ダイアログの設定値]でチェックオンしている状態が、各データ出力のダイアログボックスに反映されます。

データ出力ダイアログの設定値

- ☒ 前回の出力時に設定した内容を利用する
- ☐ このダイアログで設定した内容を利用する